

# 奈良・高安城関連遺跡

たかやすじょう

- 1 所在地 奈良県生駒郡三郷町南畑
- 2 調査期間 第九次調査 一九八七年(昭62)九月～十一月
- 3 発掘機関 奈良県立橿原考古学研究所
- 4 調査担当者 橋本裕行
- 5 遺跡の種類 集落跡および遺物包含層
- 6 遺跡の年代 古代～近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要  
天智六年(六六七)に築かれたと言われる高安城の推定範囲内において、奈良県耕地課による県営圃場整備事業が計画され、それに伴う事前調査が継続的に行なわれているが、本調査は西和広域営農第十団地造成に伴う事前調査として実施された。



(大阪東南部)

調査地の地形は、信貴山朝護孫子寺の南約五〇〇mに所在するとつくり池に向かつて西から東へ開口する

谷部と、これを取り巻く痩せ尾根から成り立っている。木簡は、谷部に設定したCトレンチのほぼ中央付近より出土した。

Cトレンチでは、遺構は認められなかったが、遺物包含層を確認した。これは、現地表下約三〇cmから一・三mの深さに存在し、中世の遺物を多く包含していた。木簡は、この包含層中より出土した。

## 8 木簡の积文・内容

(1) [□□□□□□□□]

116×27×4 011

長方形の木簡で完形。上端左右の隅を削り、下端は裏から表にかけて下方へ斜めに削って加工する。木簡表面の黒変が著しく、肉眼では墨痕はわからない。赤外線テレビによる観察によって片面に六文字分の墨書が確認されたが、内容は不明である。

## 9 関係文献

奈良県立橿原考古学研究所「高安城関連遺跡発掘調査概報」(「奈良県遺跡調査概報 一九八七年度」一九八八年)

(1)7・9 橋本裕行、8 鶴見泰寿

